

(件名) (仮称) 日置市および鹿児島市における風力発電事業に関する陳情書

(陳情の趣旨)

鹿児島市と薩摩川内市にまたがる八重山には、本山中腹に「昭和の名水百選」(昭和60年3月)、平成からは「平成の名水百選」として、地域住民等による主体的かつ持続的な水環境活動が行われている名水として環境省により選定された甲突池があり、ここに湧き出る源流は「穰(ゆたか)の水」と称されており、一日の湧水量は350tとも言われております。

昭和58年まで八重地域の農業用水として活用されていた甲突池は、沼状態のため池(竹之内様所有)は、地元住民の要望のもと、旧郡山町が譲り受けたのち全体改修し、農業活用水の充実、更には現在甲突川の源水として旧郡山町が景勝地水環境保全をはかり、現在では鹿児島市が継承しております。

また、2002年には「八重の棚田保全委員会」が設立され、明治時代から引き継がれた石積棚田を取り巻く八重山山地の自然景観、棚田から眺望できる桜島や錦江湾が魅力的な田園景観を形成し、鹿児島市景観形成重点地区に指定され、近年では「つなぐ棚田遺産」(農林水産省)にも認定をされています。

このような現在の背景には、商工会(青年部)が主となり、地元住民の方々の理解協力、更には行政の理解助成のもと、八重山ハイキング(山頂登山イベント)、甲突池水神祭(甲突池まつり)など、様々な地域活性運動が甲突池建設、八重山登山道建設、八重山公園(宿泊施設)建設、八重棚田館建設など約40年に渡り、この地における様々な公共実績が認められます。中でも甲突池水神祭は今年38回目を迎え、地元住民(八重自治会)、国会議員をはじめ、県議、市議の方々、鹿児島市をお迎えし、八重山の保全(自然保護)、水資源の重要性など、市民に対してもご発声(啓発)していただいたところです。

以上のことから、山頂に風力発電事業を計画するにあたり、単に地元地域の環境変化にとどまらず、源流から甲突川中流(こがしら)を介して、60万市民の水かめになっていることも含めて、多大な影響を及ぼすことを想定していただき、あらゆる面でのご検討をいただき、十分に必要な時間をかけた、公明正大な審議請願をお取り計らいしていただくことを求め、陳情申し上げます。

記

1. 本計画で、莫大な土地改変に対し「土地改変の度合いはさらに過激」という環境審査顧問会風力部会において、「土地の改変は最小限に抑える」という事業者に対し、抽象的レベルな文言を指摘しています。  
→ 災害発症度合いを顕著かつ数値レベルで示すようご意見願います。
2. 本計画で、広範囲で大量の伐採計画について、数年後には大量の水資源が減少もしくは完全に損失を招き、加えて土砂流失、大雨での土石流災害が危惧されます。  
→ 本計画に対する防災工事計画並びに水資源消滅についての補償について明確な回答を求めるよう、ご意見願います。

3. 風力発電機に伴う雷等，地震，強風などの倒壊による土砂流失災害について，安全保障について不安要素が多く，危惧されます。  
→ これについて，明確な見解を求めるようご意見願います。
4. 本計画は，1基あたり高さ約154mの設置が見込まれています。紙面上の計画公表だけでは想像しがたい  
→ 現地視察調査を的確に行い，正確な想定ができるよう全体的に模型化し，3Dなど画像説明を実施するようご意見願います。